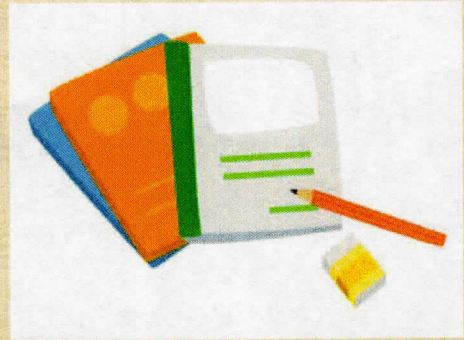


道徳・教科書問題について考える

おうか ふみよ

～相可文代さんとともに～

元中学校教員。子どもたちに渡すな！
あぶない教科書 大阪の会



教科書

道徳
教育

2018.6.15(金)

時間：18:00～21:00

会場：花の谷クリニック外来ホール
(南房総市千倉町白子2446)

参加費：500円

問い合わせ：090-3312-7607

安房地域の道徳教科書採用過程についての報告
安田美由貴(南房総市市議)より

相可文代さんからのメッセージ

私は1950年生まれの子供の世代です。学生の頃はベトナム戦争反対などの反戦運動が盛んで、私も参加していました。大阪府中学校社会科教員になってからは、日教組の「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンに共鳴して、平和教育や人権教育に取り組んできました。1996年に「新しい歴史教科書をつくる会」が設立されて以降は、教科書問題にも取り組んできました。現在は、「子どもたちに渡すな！あぶない教科書 大阪の会」で活動中。この間、社会科教科書問題だけでなく、道徳教科書の問題も出てきて、教科書運動が私の日常の大部分を占めるようになってきました。

日本はなぜあんな戦争に突き進んだのか、今また同じようなことが起きているのではないかと危機意識を持っています。

大阪市では2015年に橋下徹市長の時、育鵬社の教科書が採択されました。採択した教育委員会では市民アンケートの7割が育鵬社に賛成だったと発表されたのですが、それはフジ住宅という会社が社員を動員して市民アンケートを水増しした結果でした。私たちはそのからくりを知って公開するなどの活動をし、昨年は教育出版の小学校道徳教科書の採択を阻止しました。何もしないと日本会議の草の根保守運動が浸透していきますが、私たちが頑張ればやれることはたくさんあると実感もできました。

南房総の様子を聞かせていただいて、交流ができたらと思っています。